

セッション 5

召命と職業

社会の中で信仰によって生きる

教師用ガイド

召命と職業

今週の読書課題

今週の読書課題である『召命と職業』は、職業を持つ読者を対象に書かれており、召命とは何か、また、労働の価値とは何かについて論じています。クリスチャンは労働の場であって、人生と信仰とが一貫していることを強く望みます。召命はこの望みを満たすことができます。それは召命がすべてをキリストというお方の元におさめるものだからです。

教師のための覚え書き

召命についてしっかりと理解しておくことが、仕事を重視する職業人と共に働く際には大変重要となります。召命を理解することによって、私たちの新しいいのちをいかに生きるべきか把握することができ、また、個人としても職業人としてもあらゆる点で成長していく上での原動力となります。

今回の学習目標

1. 働く職業人にとって召命を正しく理解することが、何故、また、どのように重要であるかについて、説明できるようになること。
2. 労働の価値と、聖なるものと俗なるものの二分化について説明できるようになること。

追加読書課題

オース・ギネス著「*The Call* (召命)」

ダラス・ウィラード著「*The Devine Conspiracy* (神聖な謀議)」

資料

マイク・メッツガー著「*No Labor Days* (労働のない日々)」

The Glapham Institute [newsletters@claphaminstitute.org] 2007年9月3日月曜日分

学びの構成

この課の学びには2時間半を予定してください。

20 分間

導入：導入#1 あるいは導入#2 のいずれかを選んでください。

導入#1ー『ナチヨ・リブレ 覆面の神様』の抜粋シーン#2 を見て、マイク・メッツガー著「No Labor Days (労働のない日々)」を読む

導入#2ー『ナチヨ・リブレ 覆面の神様』の抜粋シーン#1 を見て、このシーンの登場人物が、聖なるものと俗なるものを二分化することによっていかに人生を歪んだ視点から見ているか、話し合う。

20 分間

実習：召命と創造についてのディベート

30 分間

講義とディスカッション：聖なるものと俗なるものの二分化

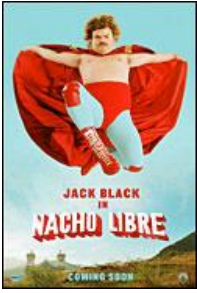
- ・ 聖なるものと俗なるものの二分化とは何か。
- ・ この二分化という歪んだ視点が召命にどのような影響を与えるか。

40 分間

プロジェクトについてのディスカッション：職業に関する調査

*注ーこの教師用ガイドには、このディスカッションをどのように進めるかについての枠組みは含まれていません。あなたのグループの人々にそれぞれの考えを述べてもらってください。そして、課題論文と職業に関する調査の内容に照らし合わせて、それぞれの召命について話し合ってください。

導入とディスカッションー『ナチョ・リブレ 覆面の神様』と『No Labor Days (労働のない日々)』



出演：[ジャック・ブラック](#)、[エクトル・ヒメネス](#)、[アナ・デ・ラ・レゲラ](#)、[ピーター・ストーメア](#)他

監督：[ジャレッド・ヘス](#)

配給：パラマウント映画

上映時間：100分

部門：[コメディ](#)

年齢制限：[PG](#)

映画のあらすじ：ナチョ（ブラック・ジャック）は、自分が育ったメキシコの修道院で料理人として働いている。彼は毎日、修道僧や愛する孤児たちの世話をしているが、密かにメキシコのプロレスラー、ルチャドールになることを夢見ている。孤児院が財政難に陥ったとき、ナチョはレスラーのアルバイトを始め、地元のルチャ・リブレの勝ち抜き戦に参加する。シスター・エンカルナシオン（アナ・デ・ラ・レゲラ）が修道院にやって来たとき、ナチョは彼女から称賛されようと努力する一方で、ルチャドールになることは罪ではないということを証明しようとする。

導入#1

シーンの紹介：孤児院の子どもたちを愛していたナチョは、興味の持てない仕事ではあったが一生懸命に働いている。プロレスラーになりたいという夢を抱いていた彼にとって、努力しても非難されてしまうことが耐え難い。

このシーンでは、ナチョの仕事に対する態度がどのように描かれていますか。彼の「duty（役目、仕事）」という言葉の使い方と、自らの栄光の日を望む気持ちについて考えてください。

マイク・メッツガー著『No Labor Days (労働のない日々)』を読んでください。ナチョの仕事上の経験について説明する上で、この記事はどのように役立ちますか。

導入#2

シーンの紹介：ナチョは一晩中外に出ていて、レスラーになれるようにと懸命になっていた。彼は自分がレスラーになるよう召されていると信じているのである。彼は子供たちの朝食を用意することができずにいた。このシーンでナチョはレスラーになりたいという思いをシスターに打ち明ける。それに対するシスターの返答から、彼女が聖なるものと俗なるものの二分化という歪んだ視点で世の中のことを見ているということが分かる。

ディスカッションのための質問：シスターの意見によると、レスリングを悪とするものは何ですか、良しとするものは何ですか。この基準をすべてのスポーツにあてはめるとすると、まもなく行われるオリンピックについてはどのように考えるべきですか。スポーツは聖なる活動ですか、俗なる活動ですか。

召命と創造についてのディベートー実習

目的：召命と創造についてのディベートは、参加者が創造の秩序についての考えを広め、創造について今までと違った考え方をすることができるように構成されています。ディスカッションは、私たちが聖なるものと俗なるものの二分化とは違った別の観点から世の中を捉えることができるようになることを目的としています。

実習の説明：次ページの表に挙げられた職業についてよく考えてください。そして、人類がもし墮落しなかったならば、すなわち、罪を犯す以前の、全く墮落していない世にあっては、どの職業が存在していたであろうかについて意見をまとめてください。これはディベート形式でもディスカッション形式でもどちらの方法で行っても構いません。

ディベート：グループの人を1人から3人から成るチームに組み分けしてください。各チームに一つの職業／分野を割り当て、その職業に対して（墮落がなかったなら、何故その分野が存在するのか、あるいは存在しないのか）どちらの立場を支持するか指示してください。各チームに5～10分間、チームの意見をまとめる時間を与えてください。意見表明／ディベートが終了したら、グループ全体に質問してください。

ディスカッション：各ペアーあるいはスモール・グループに一つずつ職業を割り当てて、もし人類が墮落しなかったならその職業が存在するかしないか意見を述べてもらってください。それぞれ意見を述べたあとに、グループ全体に質問してください。必要ならば、後の講義注を使ってください。

職業／分野	肯定	否定
警察官	なるほど墮落がなければ犯罪は存在しないというのはその通りである。しかしながら、警察のなすべき責務は犯罪捜査や刑罰以外にもある。警察は市民の組織に関して重要な役割を担っている。群集管理や事故の予防などの問題も依然として存在するだろう。	犯罪が存在しないばかりか、社会におけるその他の問題に関しても監督の必要はないだろう。人類は完璧に自らを管理できる存在となっているだろう。
医療従事者	創造の秩序は完璧に安全という訳ではないだろう。病気は根絶していても、事故は起こりうる。また、医学上の発見や研究の継続も文化命令の重要な一部である。	涙をすっかりぬぐい取ってくださるといことは、事故もないということの意味する。
アンチウイルス・プロバイダー	そのような防御が必要である理由は全く見出せない。	ウイルスは罪の結果であるので、完璧な世界では存在しないであろう。
科学者	発見と発展は文化命令の一部である。	
援助団体	罪以外の理由によって援助が必要となる可能性を否定する理由はない。	必要はあったとしても、完全なシャロームが存在し、共同体がそのシャロームの監督者を指名するであろう。
宗教奉仕者	賛美の捧げものを調整するために祭司が必要となる。	私たちと神との間を取り持つ仲介者の必要はないだろう。贖いの助けも必要ではない。
ファッション・デザイナー	創世記には、アダムとエバは裸であったが互いに恥ずかしいと思わなかったと書かれているが、それは決して彼らがそのまま裸でい続けるということを意味する訳ではない（恥ずかしいと思わないままであり続けるように意図されていた）。裸の状態では恥ずかしいと感じることはなかっただろうが、寒さの影響を受けずにはおれなかっただろうし、また、海や宇宙、その他特別の衣服を必要とする数多くの場所を探検するための装備はされていなかった。このような状況では特別の衣服が必要となるだろう。探検は発展の一部である。さらに、衣服は、墮落の影響を受けない時には、適切な表現方法の一つであり得る。ファッションは完璧な世にお	私たちは決して衣服を着るようには意図されていなかった。墮落後、アダムとエバに衣服を与えるために動物を殺さなければならなかったことは、神様を大変悲しませることであった。ファッションは歪んだ自己表現の形である。

	いては、全く違ったものとなるだろう。ファッションによって自己を確立するのではなく、ファッションが自分という存在を表す聖なる表現方法となるだろう。	
建築家	創造を発展させていく上で建築家は不可欠な存在であったし、これからもそうであろう。私たちは園で始まり、都で終わる。都は墮落の結果ではなく、神の本来の計画の一部である。	園に建築家は必要ないであろう。
コンピューター技術者	発展するに従って新しい技術が生まれる。新しい技術は評価する必要があるし、正しく使用する必要がある。墮落がなければ、間違いなく技術の発展は違った形をとっていただろうし、人類はもっと識別能力が備わっていたであろう。また、技術は何ができるかではなく、何をすべきかということを経験に発展していくであろう。コンピューターは発見する上で重要な役割を果たしてきたし、これからもそうであろう。	コンピューターは本来あるべきいのちの秩序を壊すものである。私たちはコンピューターを必要とはしない。質問があれば、神に尋ねればよいだけである。

講義注一 聖なるものと俗なるものの二分化

はじめに：聖なるものと俗なるものに二分化して物事を捉えてしまうことの弊害については、往々にして軽く考えてしまいがちです。ここでは、このような考え方が微妙に歪めてしまうのはどのような真理なのか、また、それが私たちのミニストリーに実際的にどのような影響を及ぼすかについて、考えていきたいと思えます。

聖なるものと俗なるものの二分化とは何か：簡単に言うと、活動や物事について、これは聖なるもの、あれは俗なるものというように分類してしまうことです。通常、聖なるものは私的な領域に属するものとして扱われており、その他のものはどうとオープンに語っていいものと考えられています。歯を磨くことと賛美の曲を歌うことを例として挙げると、歯磨きは俗なるもので、賛美は聖なるものという具合です。

王権という観点から考えると、キリストは王であられ、すべての創造物を支配しておられます。私たちはキリストに従う者として、私たちの行うことすべてにおいてキリストが王であることを心に留めておかなければなりません。つまり、歯を磨くことも賛美の曲を歌うのと同様に礼拝の行為であるべきなのです。

労働をこのような歪んだ考え方でとらえると、召命の中でも評価の高いものと低いものが出てきます。宣教の仕事や教会の奉仕は一級の労働で、その他は二級の労働と考えられてしまいます。

聖なるものと俗なるものの二分化という歪んだ考え方がもたらす影響とは？

- ・労働の価値を否定します。神が意図された労働のあり方（創造）と、いつの日かなるべき労働の姿（完成／回復）を無視するこの考え方は、労働を必要ではあるが意味のないものとしてとらえています。この考え方によると、私たちが毎日行っている労働は価値のないものとなってしまいます。

- ・この考え方は、キリストにある新しいいのちの鍵となる原則、すなわち、すべてのものはキリストの主権のもとに治められている、それゆえ、すべてのものには価値があるという原則を否定しています。

- ・この考え方は、地上における人生の価値、及び、創造の秩序の価値を否定しており、天国に行くまではすべて価値がないとするものです。
- ・この考え方は、労働者が自らの職業をシャロームに照らし合わせて考える能力を弱めてしまい、そのため、シャロームのために働くことを難しくさせてしまいます。
- ・この歪んだ考え方は、週に50~70時間働く職業人に対して「あなたは意味のない活動に大変多くの時間を費やしている」というメッセージを送ります。
- ・ミニストリーの内容が微妙に変化します。すなわちミニストリーは、労働や生活の場である共同体の中で働く御国の働き手を育てることから、単に宣教する働き手を育てるという内容に変化します。

講義に関するディスカッション—聖なるものと俗なるものの二分化

—2人1組にグループを分けて、各組に聖なるものと俗なるものの二元化とは何であるか、まとめてもらってください。5分後に、グループ全体で集まってそれぞれの組の結論を発表させてください。

—論文の中で「信仰と労働を結び合わせる」という語句が何回か使われています。聖なるものと俗なるものの二分化という考え方に照らし合わせた場合、これはどういうことを意味していますか。あなたの労働はどのように信仰と結び合わされていますか。他の言葉で言い換えるならば、4章の福音に照らし合わせた時、あなたの職業はどのような状態にあるということが出来ますか。

肯定／否定

私たちが、例えば宣教や教会の奉仕といった労働の方が他の労働よりもより霊的で、価値があり、より永続的な意味を持つといったことをほのめかす言葉を使うとき、それは召命の幅を狭めることであり、また、多くのクリスチャンが召命に従事する機会を奪っていることでもあります。それによって私たちは聖書の教えをひどく歪めていることとなります。

ディスカッションのための質問：この歪んだ考え方は働く職業人に対してどのような影響を及ぼしますか。